真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月30日

事務事業名	根本山いきものふれあいの里保全管理事業	担当課・係	市民生活部　環境課（根本山）
政策名　No	5　「環境づくり」～安全なまちアップ！～	関連するSDGs･DX	
施策名　No	2　自然環境の保全と地球温暖化対策の推進		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	市内の自然環境保全活動に参加している市民の割合	%	29.9					38.0
	来館者数	人	8,565					

事業内容

・根本山生き物ふれあいの里（22ha）の自然環境を保全管理し、森林・水辺環境、動植物の生態系の保護を図っている。
・自然観察センターにおいては、動植物の写真展示や情報提供、学校等団体の自然ガイド、自然体験教室などの自然環境学習を実施し、自然環境への関心・理解を深め、保全活動の参加へとつなげている。

【令和６年度実績】
自然観察センター利用者　8,205人　　学校等団体利用者　48団体1,937人
自然体験教室開催　21回　397人（計画24回のうち3回雨天中止）

前年度の課題（Check）

・観察林（雑木林）の老木化により植生が単純化しており、伐採による萌芽更新（若返り）が課題である。
・桜の老木化に係る対策が必要である。
・市民の多様化するニーズに応え、魅力的な自然体験教室やイベント等を計画するため、より一層、内容等の工夫、充実を図る必要がある。
・自然観察路の木製階段やトンボの水辺の木道が、老朽化により、損傷しているので、計画的修繕を行う必要がある。
・ナラの木が集団的に枯損する「ナラ枯れ」が発生し、倒木の危険があるため、今後も引き続き、対策が必要である。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
・自然観察センター利用者　8,565人
・自然体験教室の実施
　20回　296人　（計画24回のうち、4回雨天中止）
・学校等団体の自然ガイドの実施
　34団体　1,124人
・自然観察センターの効果的運営・維持管理
・区域全体の全山下草刈、遊歩道の定期的な草刈、択伐及び枯木伐採、支障木伐採、枝除去、落ち葉かき、ツツジ等の剪定、桜天狗巣病の枝除去等の実施
・展示場空調設備更新工事の実施

【２】結果と課題（Check）
・里山の多様な生物が生息し観察できるよう、森林や水辺、草地等の自然環境の保全管理を行う必要がある。
・観察林（雑木林）の老木化により植生が単純化しており、伐採による萌芽更新（若返り）が課題である。
・ナラの木が集団的に枯損する「ナラ枯れ」が発生し、倒木の危険があるため、今後も引き続き、対策が必要である。
・自然観察路の木製階段やトンボの水辺の木道が、老朽化により、損傷しているので、対策を行う必要がある。
・自然環境学習の推進を図るため、市民の多様化するニーズに応え、魅力的な自然体験教室やイベント等を計画するとともに、より一層、内容等について、工夫、充実を図る必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・根本山いきものふれあいの里入口駐車場トイレ洋式化工事の実施
　（自然環境整備交付金（首都圏自然歩道事業）事業）
・多様な主体による環境学習会等の実施

（2）長期的な計画で検討すること
・施設運営の在り方について、先進事例の調査研究を行う。